

令和元年度第1回小矢部市総合教育会議 議事録要旨

1 日時

令和元年7月1日(月)午前9時30分から午前10時10分まで

2 場所

小矢部市役所 特別会議室(2階)

3 出席者

桜井市長、野澤教育長、佐々木教育長職務代理者、石野教育委員、前田教育委員、古村教育委員

4 出席職員

栢元総務部長、砂田教育委員会事務局長、横川総務課長、中村教育総務課長、森 生涯学習文化課長、谷敷スポーツ課長、今井子ども課長、太田総務課課長補佐、片瀬総務課主事

5 傍聴人

0人

6 議事(報告事項)

- (1) 令和元年度小矢部市教育委員会重点施策の概要について
- (2) 小矢部市のこれからの学校教育のあり方及び小中学校の適正規模・適正配置等に関する市民アンケート調査結果の概要について
- (3) 令和元年度小中学校統廃合審議会の今後の日程(案)について

7 会議の概要

(1) 市長あいさつ

昨年度は、第2次教育大綱について慎重審議をいただき、「人をすこやかにはぐくむ教育と歴史文化がいきづくまちづくり」を教育方針とした、新たな教育大綱を策定することができた。教育委員の皆様には、多大なご尽力を賜り、深く感謝を申し上げます。本日の会議では、3件の事項について、ご報告させていただくので、何卒活発なご審議をお願いしたい。

(2) 令和元年度小矢部市教育委員会重点施策の概要について

教育委員：前回「小中一貫教育の推進」に「検討」の文言を追加していたが、この件に関しては、検討すべき事項が多くあると考えている。近隣の市町村では同一敷地内又は隣接地で小中一貫教育を実施するとのニュースがあった。本市の現状を考えると、現在の校舎を利用することになれば、距離が離れているので先生方の移動が発生する。また、授業の準備や後始末のことを考えると、小中一貫校の実施が非常に難しくなってくると考える。さらに、小学校の先生と中学校の先生では、教育に向かう立場や姿勢が違ってくる。先生の立場や価値観が違う中で、小中一貫教育を行うと学力の保証もできなくなる。そして、学力を保

証するために先生方がさらに多忙になることも懸念される。このことを進めるにあたり、主体となって進めていく先生方がどのように考えているのか、どこまでできるのか、そのようなことを検討する機会を設けることで、推進していくための資料とすることが重要だと考えているので、このことについて、しっかりと検討していただきたい。

説明職員：主体となる先生方のご意見をいただきながら検討してまいります。

教育委員：クロスランドおやべの「おやペイルミ」事業とは？

説明職員：クリスマスに併せて、タワー周辺をイルミネーションで飾るもの。昨年度までは市が主体となって実施していたが、今年度からはクロスランドの自主事業として事業を継続するもの。

(3) 小矢部市のこれからの学校教育のあり方及び小中学校の適正規模・適正配置等に関する市民アンケート調査結果の概要について

教育長：アンケート調査結果の項目5番目以降は、いつ頃までに集計するのか説明してほしい。

説明職員：今月中旬に開催予定の統廃合審議会でお示しする予定であるので、7月10日頃までに集計を行う。

(4) 令和元年度小中学校統廃合審議会の今後の日程（案）について
質疑・意見なし

(5) その他
次回開催について事務局から説明